



令和3年7月19日

第1回

萩市DX推進本部会議

総合政策部 DX推進室

自治体DX推進計画

推進体制・スケジュール

令和3年度 重点取組事項

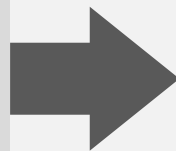
その他事項

「DX」とは？

デジタル・トランスフォーメーションの略
Trans-formation = 変化・変形・変容...

デジタル技術や
データの活用

デジタル化



業務・組織・働き方
サービスを**変革**

DX

競争上の優位性を確保
売上げ・利益UP

～ 身近なDX ～

「ネット動画配信サービス」



レンタルビデオ店



お店に行かない！
定額で見放題！！

コロナ禍「新たな日常」への対応が急務

自治体のデジタル化の遅れが明らかに

国「全ての自治体においてDXを推進」

自治体DX推進計画

自治体が**重点的に取り組むべき事項**や国の支援策を取りまとめたもの。

計画期間：令和3年1月～**令和8年3月**

1 推進体制の整備

全庁的・横断的な推進体制の構築

デジタル人材の確保・育成

2 重点的取組事項

情報システムの標準化・共通化

マイナンバーカードの普及・啓発

行政手続のオンライン化、AI・RPAの利用促進

テレワークの推進、セキュリティ対策の徹底

3 自治体DXとあわせて取り組むべき事項

地域社会のデジタル化

デジタルデバイド対策

自治体DX推進計画

推進体制・推進スケジュール

令和3年度 重点取組事項

その他事項

萩市のDX推進体制は、以下の三層の協議体により行う

萩市DX推進本部

市長・副市長・教育長・各部長

市のDX推進に係る**基本的方針**、**重要事項**について協議を行う

萩市DX連携会議

WG担当課長、市内IT企業等（オブザーバー）

各ワーキンググループの検討事項について、技術的知見を有する**専門家の意見**も取りまとめた上で、推進本部に提案を行う

ワーキンググループ

関係する業務の各担当者

DX推進に係る**個別専門的な事項**について、調査・検討を行う

重点取組事項

各部署からの提案・課題事項

項目	令和3			令和4	令和5	令和6	令和7
	7~9月	10~12月	1~3月				
推進体制	7/19 DX推進本部会議開催 DX推進本部・DX連携会議 ⇒ 4半期ごとに開催予定 ワーキンググループ ⇒ 個別課題ごとに随時開催						
システム標準化				国仕様書策定 ・各ベンダー システム開発	関係課協議・ ベンダー選定	システム移行作業 (国共同クラウド化)	本稼働
手続オンライン化 市重点取組事項	一部 先行 導入	子育て・介護・人事採用関係導入 (マイナポータル活用)			他業務についても 検討・関係課協議		全面導入
AI・RPA 市重点取組事項	令和2年度導入済 導入業務を順次拡大						
テレワーク 市重点取組事項	関係課協議 (システム・手法 制度等検討)	補正 予算	業者選定	導入			※現在、試行的運用している シンテレワークシステムが、 今年度末まで利用可と仮定
電子決裁 市重点取組事項	関係課協議 (システム検討・関係規定等整理)			業者 選定	移行 作業	導入	
セキュリティ対策	委託業者 選定	ネットワーク構成の検討 セキュリティポリシー見直し		運用開始			

自治体DX推進計画

推進体制・スケジュール

令和3年度 重点取組事項

その他事項

- ① R P A
- ② テレワーク
- ③ 行政手続オンライン化
- ④ 電子決裁・文書管理

1. RPA（Robotic Process Automation）とは

- 普段人が行う定型的なパソコン操作を、ソフトウェアのロボットが代行して自動化してくれるもので例えば、**大量のデータをパソコンに入力**する作業などは、RPAに最も適した業務となります。
- また、入力元として申請書などの紙ベースのものから入力することが多いため、RPAに作業をさせるためには、一旦CSV等のデータに変換する工程が必要となります。その部分を担うのが「**AI-OCR**」です。



2. 現状

- RPA(WinActor)、AI-OCRを導入（令和2年度3月）

No	担当課	導入業務概要	Win Actor	AI-OCR
1	子育て支援課	会計年度任用職員約200名（保育園・児童クラブ）の給与支払い業務	○	○
2	会計課	基幹系システムへの兼命令登録業務	○	
3	教育政策課(学校教育課)	就学援助認定作業、支給業務 特別支援就学奨励費制度認定作業、支給業務	○	○
4	健康増進課	予防接種業務 ※試験的な導入のため非稼働	○	○
5	上下水道局総務課	下水道事業受益者負担金	○	

3. 課題

- 人事異動により利用継続が出来ていない担当課が多い。
- 「**シナリオ**」作成に一定の技術レベルが必要。

4. 今後の方針

- シナリオ作成技術者の育成
- 利用件数を増やすための活動

5. 事例紹介動画（子育て支援課）
6. インタビュー動画（子育て支援課）

1. テレワークの形態

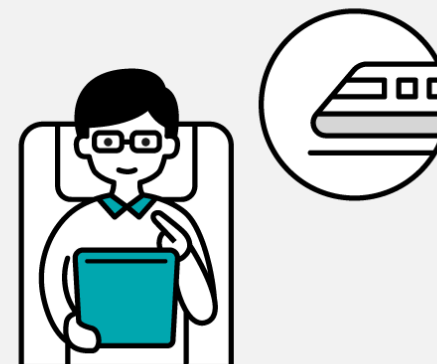
- 一口にテレワークといっても様々な形態があります。



在宅勤務



サテライトオフィス勤務



モバイルワーク

形態	説明
在宅勤務	自宅でPCを活用して業務を遂行する形態
サテライトオフィス勤務	勤務地以外の出先機関や公共施設でPCを活用して業務を遂行する形態
モバイルワーク	外出先・出張先や移動中(交通機関の車内等)に、PCやタブレットなどのモバイル端末等を利用して、業務を遂行する形態

2. 現状

- 申請者に対して、「シン・テレワークシステム」を活用して、テレワークを実現

※シン・テレワークシステムとはNTT東日本と情報処理推進機構（IPA）が新型コロナウイルスの蔓延を受け、実証実験として無償で提供しているリモート接続サービスで、自宅のパソコンから職場の情報系パソコン（メールやインターネットなどを使用するパソコン）へ接続することができます。

3. 課題

- 職員向け、テレワークのアンケート（4月）の結果
 - [テレワークアンケートまとめ](#)
- 「シン・テレワークシステム」は実証実験として無償の利用であるため、今後有償のサービスに切り替わる可能性がある。

4. 今後の方針

- テレワークを代表とした様々な情報システムの状況変化に対応するべくまずは、萩市情報セキュリティポリシーの改訂を行います。
- セキュリティ改訂に伴い並行してテレワークの在り方を検討します。



デジタル化3原則

デジタルファースト

紙などを介さずに一貫して
デジタルで完結させる

ワンスオンリー

一度提出した情報は
再提出不要とする

コネクテッド・ワンストップ

民間サービスを含め、複数の手続・
サービスをワンストップで実現する

自治体DX推進計画（令和2年12月25日総務省策定）

3.1 重点取組事項

（3）自治体の行政手続のオンライン化

【取組方針】

① デジタル化による利便性の向上を国民が早期に享受できるよう、2022年度末を目指して、原則、全自治体で、特に国民の利便性向上に資する手続について、マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にする。

具体的には、以下の31手続を対象として、積極的・集中的にマイナポータルを活用したオンライン化を進める。

② さらに、上記以外の各種行政手続についても、「地方公共団体におけるオンライン利用促進指針」を踏まえ、積極的にオンライン化を進める。

特に国民の利便性向上に資する手続（対象手続：31手続、うち市区町村対象27手続）

子育て関係（15手続）※市区町村対象手続

児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求

児童手当等の額の改定の請求及び届出

氏名変更／住所変更等の届出

受給事由消滅の届出

未支払の児童手当等の請求

児童手当等に係る寄附の申出

児童手当に係る寄附変更等の申出

受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出

受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出

児童手当等の現況届

R3.6.15～

支給認定の申請

保育施設等の利用申込

保育施設等の現況届

児童扶養手当の現況届の事前送信

妊娠の届出

介護関係（11手続）※市区町村対象手続

要介護・要支援認定の申請

要介護・要支援更新認定の申請

要介護・要支援状態区分変更認定の申請

居住(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出

介護保険負担割合証の再交付申請

被保険者証の再交付申請

高額介護(予防)サービス費の支給申請

介護保険負担限度額認定申請

居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請

居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請

住所移転後の要介護・要支援認定申請

被災者支援関係（1手続）※市区町村対象手続

罹災証明書の発行申請

自動車保有関係（4手続）※都道府県対象手続

自動車税環境性能割の申告納付

自動車税の賦課徴収に関する事項の申告又は報告

自動車税住所変更届

自動車の保管場所証明の申請

デジタル・ガバメント実行計画（令和元年12月20日閣議決定）

a) 処理件数が多く、オンライン化の推進による住民等の利便性の向上や業務の効率化効果が高いと考えられる手続

別紙5 地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続（抜粋）

図書館の図書貸出予約等	粗大ごみ収集の申込
文化・スポーツ施設等の利用予約	産業廃棄物の処理、運搬の実績報告
研修・講習・各種イベント等の申込	犬の登録申請、死亡届
地方税申告手続（eLTAX）	感染症調査報告
水道使用開始届等	職員採用試験申込
港湾関係手続	就業構造基本調査
道路占用許可申請等	入札参加資格審査申請等
建築確認	入札

b) 住民のライフイベントに際し、多数存在する手続をワンストップで行うために必要と考えられる手続

ア. 子育て関係

イ. 介護関係

ウ. 被災者支援関係

○自治体の行政手続オンライン化のスケジュール

令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
利便性向上に資する手続のオンライン化			その他手続のオンライン化		
補助					
マイナポータルと基幹システムの 接続に要する経費に対して補助					

電子決裁・文書管理システムの必要性

これまで

- ・過去の書類を探すのに時間がかかる。
- ・一人ずつ確認するため、決裁に時間がかかる。
- ・出張等で不在の場合、決裁が滞ってしまう。
- ・どこまで承認が進んでいるのかわからない。
- ・書類の保管スペースが必要。



システム導入後

- ・システム化により、過去の書類の検索が容易に。
- ・確認を必要とする職員の決裁が同時並行で可能に。
- ・自宅や出張先からも申請・承認ができる。
- ・承認の進捗状況をいつでも確認ができる。
- ・保管スペースが不要。ペーパーレスで紙も削減。

システム導入にあたっての課題

基幹系

住民記録

戸籍

税

国保

介護

後期高齢

福祉関連

財務会計



LGWAN 接続系

LGWANメール



インターネット 接続系

インターネットメール

グループウェア

文書管理

電子決裁



- ・電子決裁システムと文書管理システムを併せて導入。既存の決裁ルールや文書管理等について、見直しが必要
- ・デジタルで完結させるために。オンライン申請の推進、業務フローの見直し。
- ・勤怠管理システムの導入の検討、財務会計システムの移行検討

自治体DX推進計画

推進体制・スケジュール

令和3年度 重点取組事項

その他事項

離れていてもつながる！ ～ オンライン交流 ～ プロジェクト

萩市社会福祉協議会

連携

萩市 高齢者支援課・DX推進室

講習会・相談会の実施
(スマホ・LINE・Zoomなど)

得意分野を活かして
地域に貢献

地域高齢者の**担い手団体**
(市内21団体)

協力

地域の
若者

地域サロン等で**スマホ教室**
(地域の**自主的な活動**として展開)

LINEやZoomで
友達・家族と
繋がる！

各地域の高齢者



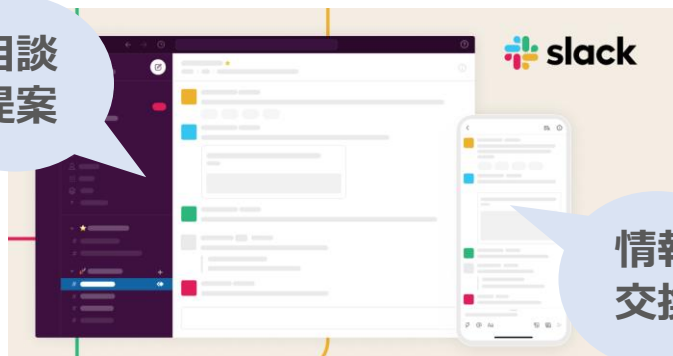
萩市のD Xをすすめるうえで
実際に業務に当たられている
現場の皆さんの力が必要です。



D X 職員フォーラム

チャットツールを活用した
意見交換の場を開設

相談
提案



情報
交換

D X 推進員

各所属からの推薦により
D X 推進員を1名ずつ任命

期待する役割

- D X 推進室との情報連携
- デジタル技術の先行利用
- 所属におけるD Xを推進

「萩DX × Well-Being」

～ DXで萩のみんなが幸せに～

いつでも
どこでも
申請できる

パソコン
習って
孫と会話

ケータイ
で支払い

GIGA
スクール

住んで幸せ

住民の利便性向上

遠隔診療

紙をなくして
経費削減
スピードUP

テレワーク
で子育てと
仕事の両立

RPA・AIで
効率化

スマート
農業

働いて幸せ

業務効率化・働き方改革

どこでも
ネットが
繋がる

スマホで
観光情報

Wi-Fi

ベストスポット

本日の宿

おみやげ

訪れて幸せ

観光客の満足度アップ

PHONE APPLI 様 ご提案

はぎなびをふるさと納税を起点とした観光アプリに

ふるさと納税

萩情報が届く

萩に行きたくなる

萩に行く

萩を存分に体験する

毎年ふるさと納税する



萩焼体験できるにゃん!

そうだ! 萩に行こう!

萩到着後すぐに萩情報が届く

継続的にはぎなびから萩情報が届く

ふるさと納税、観光客増加、萩ビジネス拡大へ